

### 三 県 民 環 境 部

#### 消防防災ヘリコプター運営管理費

214, 841

消防防災ヘリコプターの運営及び防災航空事務所の管理に要する経費

#### 環境放射線等対策費

- 環境放射線機器等整備 71, 185  
放射線測定機器等の更新  
(国10/10)
  
- 環境放射線等測定調査 119, 367  
環境安全管理委員会の運営及び環境放射線の監視等に要する経費  
1 伊方原子力発電所環境安全管理委員会の運営  
(1)構成 委員会及び環境専門部会  
(2)任務 環境放射線等調査計画の検討 など  
(3)回数 委員会 年2回 環境専門部会 年2回  
2 環境放射線の測定 など  
(国10/10)
  
- ◎ 避難等基準線量監視強化費 98, 671  
国の原子力災害対策指針に基づき、緊急時の監視体制の強化を図るため、UPZ(5～30km圏)における避難等防護措置の判断基準である空間放射線量率測定用の通信機能付電子線量計を整備する。  
1 整備内容 通信機能付電子線量計50台、収集サーバ2台 など  
環境放射線監視テレメータシステムの改修  
(国10/10)
  
- オフサイトセンター整備事業費 22, 118  
原子力災害対策特別措置法に基づき、移転が必要となったオフサイトセンターを、伊方原子力発電所から約24kmの地点に西予土木事務所との合築により整備する。  
1 設置場所 西予市宇和町卯之町  
2 敷地面積 2,936㎡  
3 建物規模 本庁舎 延3,283.74㎡(RC造4F、免震構造) など  
4 事業内容 駐車場整備、通信機器移転 など
  
- ◎ 防災通信システム整備工事費 1, 101, 620  
〔債務負担行為限度額 1, 500, 000〕  
災害時の情報収集・伝達体制の中核施設となる防災通信システムを更新整備する。  
1 整備方針 耐災害性に優れ、コストパフォーマンスの高いシステムの構築  
2 整備内容 ・大容量の地上無線や衛星インターネットによる回線の多重化  
・定点カメラや映像伝送が行える可搬型通信設備の導入  
・クラウドサービスを利用した災害情報システムの導入 など  
3 整備期間 27～28年度(運用開始予定 防災通信システムは29年度、災害情報システムは28年度)
  
- 消防防災ヘリコプター更新事業費 1, 362, 274  
大規模災害時の迅速かつ的確な情報収集・救助活動など、消防防災力の充実・強化を図るため、老朽化している消防防災ヘリコプターの機体及び装備を更新整備する。  
1 整備内容 機体1機、ヘリコプターテレビ電送システム等装備1式  
2 整備年度 26～27年度(運航開始予定 28年度)

## 合併処理浄化槽設置整備事業費

63, 586

生活環境の保全等を図るため、市町が行う合併処理浄化槽の設置整備に対する助成

- |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 個人が設置する場合の助成              | 2 市町が面的整備を行う場合の助成           |
| (1)事業主体 15市町                | (1)事業主体 5市町                 |
| (2)補助対象 国補採択された5~10人槽(809基) | (2)補助対象 国補採択された5~10人槽(221基) |
| (3)補助率 県1/10~7/30(国1/3)     | (3)補助率 県7/100~1/10(国1/3)    |

## ○ 自然公園等施設整備事業費

26, 979

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1 瀬戸内海国立公園正味名駒線道路(今治市)<br>丸太階段工                      | 5 四国のみち環17高縄山探鳥のみち(松山市)<br>公衆便所 |
| 2 足摺宇和海国立公園高茂岬園地(愛南町)<br>木柵工                         | (1)事業主体 松山市<br>(国4.5/10)        |
| 3 足摺宇和海国立公園沖の島園地(宇和島市)<br>園路工                        |                                 |
| 4 石鎚国定公園河口面河線道路(西条市他)<br>標識、ベンチ、舗装修繕<br>(森林環境保全基金事業) |                                 |

## 消費者行政活性化基金積立金

13

基金運用益の積立

- 基金の名称 消費者行政活性化基金
- 基金積立金 13千円
- 基金の使途 県内消費生活相談窓口の機能強化 など
- 設置期間 20~29年度

## 廃棄物処理センター運営費貸付金

1, 643, 000

県廃棄物処理センターに、運営資金を無利子で融資し、廃棄物の適正処理を確保する。

- 貸付対象者 (一財)県廃棄物処理センター
- 貸付内容 センターの運営に必要な資金
- 貸付期間 27年4月1日~28年3月31日
- 利率 無利子

## 資源循環促進基金積立金

223, 356

資源循環促進税を財源に、産業廃棄物の排出抑制及び減量化並びに資源の循環的な利用、その他産業廃棄物の適正な処理を促進するための基金への積立て

- 基金の名称 資源循環促進基金
- 基金積立金 223,356千円
- 基金の使途
  - (1)産業廃棄物の排出抑制、減量化、有効利用を促進するための研究・開発及びそのための施設整備
  - (2)環境ビジネスの振興
  - (3)優良な産業廃棄物処理業者の育成
  - (4)監視指導体制の拡充・強化
  - (5)環境教育の充実

## 資源循環促進基金事業

### ◎ 産業廃棄物行政支援交付金

58, 000

松山市が産業廃棄物の適正な処理を確保するために実施する事業に対して交付金を交付し、生活環境の保全を図る。

- 事業主体 松山市
- 交付率 県10/10
- 交付限度額 58,000千円
- 交付期間 27~46年度(20年間)
- 交付対象経費 資源循環促進税の使途に合致する経費
  - (1)産業廃棄物の排出抑制、減量化、有効利用を促進するための研究・開発及びそのための施設整備
  - (2)環境ビジネスの振興
  - (3)優良な産業廃棄物処理業者の育成
  - (4)監視指導体制の拡充・強化
  - (5)環境教育の充実

◎

**産業廃棄物処理施設等パトロール強化費****3, 975**

産業廃棄物処理施設等への定期的なパトロールや施設の安全性検査を拡充し、指導・監督体制の強化を図る。

- 1 産業廃棄物処理施設に対する監視指導の強化    3 監視指導のための検査機器等の導入
  - (1)監視パトロールの強化
  - (2)土砂災害等防止の観点からの確認検査
- 2 土砂条例の特定事業場に対する監視指導の強化
  - (1)監視パトロールの強化
  - (2)土砂条例構造基準等の検査

◎

**リン回収技術開発研究費****2, 500**

農業肥料等に不可欠なリン資源の安定確保を目指し、下水汚泥からリンを回収するための技術の研究する。

- 1 実施機関    県衛生環境研究所
- 2 内容        リン回収に係るニーズ把握などの下水処理場の意向調査  
下水汚泥等焼却灰性状調査  
リン及び重金属類の溶出制御技術開発
- 3 実施期間    27～29年度

**産業廃棄物不法投棄未然防止対策強化費****19, 208**

産業廃棄物の不法投棄を撲滅するため、未然防止、早期発見、早期対応のための緊急対策を講じ、県民の生活環境の向上を図る。

- 1 監視指導の拡充・強化
  - (1)「環境パトロールカー」による監視指導の強化
  - (2)「消防防災ヘリコプター」活用による監視
  - (3)「監視カメラ」による監視体制強化(カメラ増設)
- 2 産業廃棄物等適正処理指導員の設置
  - (1)人数    5人(5保健所に各1人)
  - (2)身分    非常勤嘱託(警察OB)
  - (3)任期    1年以内(再任あり)
- 3 不法投棄110番(フリーダイヤル)の設置
- 4 収集運搬車両の検問  
5保健所ごとに年3回程度
- 5 産業廃棄物排出事業者処理責任啓発事業
  - (1)講習会の開催(5保健所)
  - (2)多量排出事業者減量化計画の作成指導
- 6 不法投棄防止対策推進協議会の設置  
5保健所に設置、年1回開催

**優良産業廃棄物処理業者育成事業費****8, 048**

- 1 優良産業廃棄物処理業者育成事業
  - (1)優良産業廃棄物処理業者育成研修会の開催  
・委託先 (一社)えひめ産業廃棄物協会
  - (2)優良産業廃棄物処理業者育成指導の強化  
・委託先 (一社)えひめ産業廃棄物協会
  - (3)優良産業廃棄物処理業者支援事業費補助金  
・低公害車両導入経費の補助
- 2 優良産業廃棄物処理業者育成事業費補助金
  - (1)エコアクション21認証・登録・審査経費の補助  
・補助対象者 産業廃棄物処理業者  
・補助率 県1/2以内
  - (2)電子マニフェスト関係機器導入経費の補助  
・補助対象者 産業廃棄物処理業者  
・補助率 県1/2以内

**産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業費****18, 227**

再資源化システムの事業化を促進するための研究・開発等に対し補助する。

- (1)補助対象者 (一社)えひめ産業廃棄物協会
- (2)事業内容    ・えひめ産業廃棄物協会が会員に対して行う助成への補助(間接補助)  
補助率 県10/10(助成枠15,000千円)  
・えひめ産業廃棄物協会が行う事業への補助  
補助率 県3/4(補助限度額3,000千円)

**紙産業資源循環促進支援事業費****31, 300**

製紙産業から排出される産業廃棄物の発生抑制等のための研究・開発等に対し補助する。

- (1)補助対象者 (公社)県紙パルプ工業会
- (2)事業内容    ・県紙パルプ工業会が会員等に対して行う助成への補助(間接補助)  
補助率 県10/10(助成枠26,000千円)  
・県紙パルプ工業会が行う事業への補助  
補助率 県3/4(補助限度額5,000千円)

**ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進事業費** 8, 926

ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正処理を行うため、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基金を造成する(独)環境再生保全機構に補助するとともに、事業者に対し適正保管を指導する。

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1 基金の概要                   | 2 適正処理の推進        |
| (1)目的 中小事業者のPCB処理費用に対する助成 | (1)適正保管指導        |
| (2)基金設置母体 国:都道府県=1:1      | (2)保管状況等の届出内容の公表 |
| (3)基金総額 560億円             |                  |

**循環型社会ビジネス振興事業費** 3, 398

- |   |   |
|---|---|
| 1 資源循環優良モデルの認定                                | 2 エコビジネスの支援   |
| (1)事業概要<br>優良リサイクル製品、優良循環型事業所、<br>優良エコショップの認定 | (1)「愛媛の3R企業展」の開催<br>(2)「3R企業エコツアー」の実施<br>(3)「わがまちの3R企業展」の開催 |
| (2)認定予定数<br>製品、事業所、店舗ごとに3件程度                  |   |
| (3)認定期間 3年                                    |   |

**微量PCB汚染廃電気機器処理促進事業費** 5, 000

微量PCB汚染廃電気機器の処理に要する経費の一部を補助

- 1 補助対象者 中小企業者等
- 2 補助率 県1/2

**売れるリサイクルモデル支援事業費** 5, 139

リサイクル製品の開発を支援するとともに、資源循環優良モデルに認定されたリサイクル製品等を県外の大型環境展示会でPRすることにより、普及啓発や販路拡大を図る。

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1 売れるリサイクルモデルの開発支援             | 2 県外大型展示会への出席   |
| (1)製品開発や販売強化に関するワークショップ<br>の開催 | (1)展示会名 エコプロダクツ2015<br>(2)開催場所 東京ビッグサイト<br>(3)開催日程 27年12月 |
| (2)優良モデルの販売支援                  |   |

○ **産業廃棄物実態調査費** 6, 513

- 1 実施方法 民間環境調査専門業者へ委託
- 2 調査対象業種等 「日本標準産業分類」に基づく業種(一部を除く)から約4,000事業所を抽出
- 3 調査項目
  - (1)産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理状況
  - (2)廃棄物処理施設の設置状況
  - (3)廃棄物処理に関する意識調査
  - (4)資源循環促進税導入による効果 など

○ **バイオ燃料利用拡大事業費** 7, 859

- |  |   |
|--|---|
| 1 バイオマス活用普及啓発事業                        | 3 バイオディーゼル燃料普及啓発事業  |
| (1)県バイオマス利活用促進連絡協議会<br>による周知           | (1)バイオディーゼル燃料普及イベントの開催<br>(2)バイオディーゼル燃料理解促進セミナーの開催<br>(3)バイオディーゼル燃料モニター事業<br>(4)公用車によるバイオディーゼル燃料の普及啓発<br>(5)自家給油施設整備モデル事業 |
| (2)環境イベント参加による県民向け啓発活動                 |   |
| (3)子ども向け出前授業「バイオマス教室」<br>の開催           |   |
| 2 バイオマス活用県民参加推進事業<br>県独自のエコ活動ポイント制度の運営 | ・補助対象者 自家給油施設を新設する1市町<br>・補助率 県1/3(補助限度額1,000千円)  |
|  | 4 バイオエタノール実証事業成果研究会の開催  |

**海岸漂着物地域対策推進基金積立金**

11

基金運用益の積立

- 1 基金の名称 海岸漂着物地域対策推進基金
- 2 基金積立金 11千円
- 3 基金の使途 海岸漂着物等の回収・処理や発生抑制に係る普及・啓発 など

## 石綿健康被害救済基金拠出金

17, 320

(独)環境再生保全機構が設置・運営する「石綿健康被害救済基金」への拠出

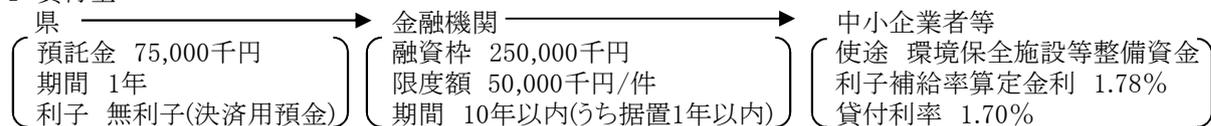
- 1 目的 労災補償等の対象とならない石綿による健康被害者(石綿取扱工場周辺一般住民や労働者の家族等(対象疾病:中皮腫・肺がん等))に対する医療費、療養手当、葬祭料、弔慰金等の支給
- 2 基金の設置・運営 (独)環境再生保全機構
- 3 基金造成額 約760億円(18～22年度の5年間分)

## 環境保全資金融資制度運用費

75, 375

中小企業者等に貸し付ける環境保全資金に係る金融機関への預託金及び利子補給金

### 1 貸付金



### 2 貸付対象

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| (1)環境保全施設の整備   | (4)工場又は事業場の移転                |
| (2)公害防止施設等の整備  | (5)環境ISO及びエコアクション21認証取得経費 など |
| (3)アスベスト除去・調査等 |                              |

## あったか愛媛NPO応援基金積立金

5, 012

県民、企業等からの寄附をもとに、NPO法人の活動資金の安定確保と育成支援に努めるための基金への積立て

- 1 基金の名称 特定非営利活動促進基金(通称:あったか愛媛NPO応援基金)
- 2 基金積立金 5,012千円
- 3 基金の用途 NPO法人活動助成事業及びNPO法人育成支援事業

## あったか愛媛NPO応援事業費

5, 509

あったか愛媛NPO応援基金を活用し、NPO法人に助成するほか、育成支援のための事業を実施することにより、活動経費の安定確保と運営能力の向上を図る。

### 1 NPO法人活動助成事業

- (1)対象団体 当基金に登録済みのNPO法人
- (2)対象経費 NPO法人の活動経費
- (3)補助額 1団体 500千円以内  
(NPOと多様な主体との協働事業支援)
- 1団体 250千円以内  
(NPO活動経費助成)  
※団体希望寄附分はこの限りでない
- (4)選定方法 委員会で審査し選定

### 2 NPO法人育成支援事業

- (1)事業力向上セミナー  
①内容 NPO法人事業力向上セミナー  
②人員 100人×3回  
(東・中・南 各地方局で1回)
- (2)地域協働推進活動助成  
①対象団体 中間支援組織  
②対象経費 NPO法人等の地域活動団体に対する支援経費  
③補助額 1団体 300千円以内(3団体)  
④選定方法 委員会で審査し選定

## 消費者行政活性化事業費

51, 777

地方消費者行政推進交付金等を活用し、県内消費生活相談窓口の機能強化や消費者教育・啓発の推進等を図り、県民の安心を確保する。

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| 1 消費生活相談機能整備・強化事業                            | 4 市町村の基礎的な取組みに対する支援事業       |
| 2 消費生活相談員等レベルアップ事業                           | 5 地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業 |
| 3 消費生活相談体制整備事業<br>(国10/10)<br>(消費者行政活性化基金事業) |                             |

## ◎ 悪質商法被害防止見守り強化事業費

1, 558

後を絶たない高齢者等の消費者トラブルの未然防止等のため、地方局管内に構築されている見守りネットワークの拡充強化を図り、裾野の広い見守り活動を展開する。

- 1 地方局単位での連絡会議の開催
- 2 県全体での活動報告会の開催
- 3 県ホームページによるネットワーク構成団体及び取組内容の公表・紹介
- 4 「見守りカード」の作成・配布  
(国10/10)

## 廃棄物処理センター運営費補助金

79,992

市町などで処理が困難な廃棄物を適正処理するなど公的性格を有する(一財)県廃棄物処理センターに対し運営費等の補助を行う。

補助対象

- 1 建設費償還金 補助率 県1/3(資源循環促進基金事業)
- 2 人件費(プロパー職員3人、臨時職員1人)

## ◎ 災害廃棄物処理計画策定事業費

7,166

今後発生が予測される大規模地震等の災害に備え、県災害廃棄物処理計画等を策定する。

- 1 県災害廃棄物処理計画策定委員会の設置・運営
- 2 災害廃棄物処理計画等作成委託事業
  - (1)計画等の策定に係る基礎調査 (3)市町災害廃棄物処理計画策定ガイドライン素案の作成
  - (2)県災害廃棄物処理計画素案の作成

## 「三浦保」愛基金事業

### ◎ 環境学習活動活性化支援事業費

1,079

環境学習活動の活性化を図るため、地域の環境活動リーダーによる環境学習活動で活用する新たな学習資材を作成する。

- 1 環境学習活動支援冊子の作成
  - (1)作成部数 小(4~6年)・中学生向け2,000部 一般(高校生以上)向け2,000部
  - (2)内容 ・えひめの環境の現状と課題  
・未来のために今できること
- 2 環境学習活動参加促進用パネルの作成

### 「三浦保」愛基金環境保全活動支援事業費

15,000

- 1 「三浦保」愛基金環境保全・自然保護分野公募事業
  - (1)補助率 事業費500千円以下の部分 10/10以内  
事業費500千円を超える部分 1/2以内
  - (2)対象 ・地球温暖化防止活動  
・環境学習推進活動  
・生活環境保全活動  
・自然環境保全・活用活動
- 2 環境保護活動顕彰・啓発事業
  - (1)補助率 10/10以内
  - (2)対象経費  
・三浦保環境賞の募集、審査、表彰に要する経費  
・環境保護に関する普及啓発事業に要する経費

## ○ 地球温暖化防止県民運動推進事業費

5,339

- 1 県地球温暖化防止実行計画の普及啓発
- 2 県地球温暖化防止実行計画に基づく温暖化対策の推進
  - (1)地球温暖化防止県民運動推進会議の運営(ゼロ予算)
  - (2)産業部門  
中小企業環境配慮活動支援事業、大規模事業所に対する環境自主行動計画等実行支援(ゼロ予算)
  - (3)民生業務部門  
クールビズ四国キャンペーン、ウォームビズ四国キャンペーン、ライトダウンキャンペーン(ゼロ予算)
  - (4)民生家庭部門  
みんなで出かけまシエアキャンペーン
  - (5)運輸部門(自転車によるエコ通勤の普及)  
エコ通勤普及キャンペーン、自転車ツーキニストモニター事業(「三浦保」愛基金事業)
  - (6)地球温暖化適応策普及啓発事業(ゼロ予算)

## 生物多様性えひめ戦略推進事業費

8,544

- 1 生物多様性の保全推進
  - (1)特定希少野生動植物保護管理調査
  - (2)生物多様性再生モデル地区推進事業  
・生物多様性再生モデル地区の構築  
・生物多様性保全・再生グループの育成
  - (3)外来生物対策事業
- 2 生物多様性の認識度向上  
・生物多様性に関する知識・情報集積  
・施設等のPRによる活用促進
- 3 生物多様性えひめ戦略進行管理

## ○ 自然観察会開催事業費

1,729

自然保護思想の高揚を図るため、野外学習や環境教育等を行う自然観察会を開催する。

- 1 開催場所 県内の希少野生動植物が生息する里山地域 など
- 2 開催回数 愛南町一本松地区等3箇所各3回程度
- 3 参加対象 一般県民(405人)  
(森林環境保全基金事業)

- ◎ **石鎚山系魅力創生事業費** 13, 241  
 自然公園の利用促進と自然環境保全に関する意識の向上を図るため、石鎚国定公園指定60周年を機に、石鎚山系の魅力創生を推進する。
- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1 愛媛県エコツーリズム推進事業           | 4 60周年記念シンポジウム開催事業 |
| (1)石鎚山系エコツーリズムの普及啓発 など     | 5 60周年記念事業         |
| (2)エコツーリズム推進ネットワークの形成      | (1)石鎚の魅力体験事業       |
| 2 石鎚山ヒルクライムブランド化支援事業       | (2)石鎚の魅力発信事業       |
| (1)第5回記念大会(700人)の運営経費支援    | (「三浦保」愛基金事業)       |
| (2)大会の安全運営等の支援             |                    |
| 3 石鎚山系自然歩道等整備事業(国4.5/10)   |                    |
| 四国一番の難所横峰寺へのみちコース(西条市)の園路工 |                    |

- **第二次えひめ環境基本計画(仮称)策定事業費** 1, 477  
 低炭素・循環・自然共生の各分野を統合的に達成することにより、持続可能な社会を実現するため、本県の特徴を生かした「第二次えひめ環境基本計画(仮称)」を策定する。
- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1 環境審議会等による検討・審議 | 2 計画の周知・普及啓発 |
| (資源循環促進基金事業)     |              |

- 環境創造センター事業費** 5, 062
- 1 環境創造センターの運営
    - ・構成員  所長、客員研究員(11人)、研究員(22人)
  - 2 「えひめ環境大学」の開催
    - (1)場所 愛媛大学
    - (2)対象者及び回数 100人(年5回)

- **自助・共助防災対策実践促進事業費** 1, 807  
 防災意識啓発講演の実施や防災普及啓発DVDの作成・活用等により自助対策の実践を促進するとともに、えひめ防災インストラクターを対象とした実践的な講習等により地域防災の担い手を育成する。
- 1 自助対策の実践促進
    - 防災意識啓発講演、減災キャンペーン、民間事業所等の活動と連携した普及啓発、南海トラフ巨大地震体験版DVD(小学校低学年向け)の作成
  - 2 地域防災の担い手育成
    - 「えひめ防災インストラクター」養成講習の実施 など

- **南海トラフ地震等大規模災害対策推進費** 4, 293  
 南海トラフ地震等発生時における人的被害等の軽減と防災関係機関相互の連携強化を図るため、各種訓練等を実施する。
- 1 県の災害対応力の強化
    - (1)県災害対策(警戒)本部の運営(情報収集・非常用食料及び飲料水の備蓄など)
    - (2)県災害対策本部機能の向上(職員研修・活動訓練の実施など)
    - (3)県の業務継続の推進(県業務継続計画推進連絡会・災害時行動計画検証訓練の実施)
  - 2 県・市町災害対応力の向上、関係機関との連携
    - (1)県・市町災害対策本部合同運営訓練の実施
    - (2)国・他県等との連携推進

- 国民保護共同図上訓練費** 3, 151  
 国民保護体制をより強固なものとするとともに危機事案発生時の対応力向上を図るため、テロを想定した緊急対処事態訓練を実施する。
- 1 開催場所  県庁会議室、東温市会議室
  - 2 訓練事項
    - ・事態発生時における県及び市の情報収集・報告連携
    - ・発災時の原因特定等の関係機関との連携 など
  - 3 参加機関  東温市、松山市、県警察本部、自衛隊、県内市町及び医療機関等外部機関(国10/10)

○ 防災士養成促進事業費 10,099

- 自主防災組織の核となる人材等の充実を図るため、防災士資格が取得できる講座を開催する。
- 1 対象者等 ・自主防災組織等の推薦を経て、市町の推薦を受けた者(850人 うち女性170人)  
(開催場所:各地方局・支局単位(5か所×2回))  
・県立学校教職員(121人) (開催場所:松山市内(1回))
  - 2 開催日数 1回当たり2日間
  - 3 講座内容 防災士の役割、ハザードマップ、災害図上訓練、気象情報の分析と応用等

◎ 避難所運営リーダー育成事業費 1,137

- 災害時における避難所運営体制の強化を図るため、市町と連携してリーダーとなる人材の育成研修を実施する。
- 1 対象者等 自主防災組織役員、防災士、えひめ防災インストラクター等(350人)  
(開催場所:各地方局・支局単位(5か所))
  - 2 開催日数 1回当たり1日間
  - 3 研修内容 避難所運営の図上演習等
  - 4 事業期間 27～29年度

◎ 市町災害情報伝達緊急事業費 10,315

- 避難勧告等の情報伝達体制の充実強化を図るため、市町が行う戸別受信機等の整備を支援するとともに、情報伝達担当者のスキルアップ研修等を実施する。
- 1 戸別受信機等の緊急整備支援  
(1)実施主体 市町  
(2)補助対象 自主防災組織の代表者宅等に整備する戸別受信機、防災ラジオ等受信端末の購入経費  
(3)補助率 財政力指数が県平均未満の市町 県1/2  
財政力指数が県平均以上の市町 県2/5
  - 2 市町における住民への連絡網等の構築(ゼロ予算)
  - 3 市町の災害情報伝達担当者のスキルアップ研修の実施

市町避難対策支援強化事業費 74,986

- 地震等による大規模災害に備え、避難対策の促進を図るため、市町が行う避難所の資機材整備に対して補助する。
- 1 実施主体 市町
  - 2 補助対象 避難所の資機材整備(発電機、簡易トイレ、備蓄倉庫 など)
  - 3 補助率 財政力指数が県平均未満の市町 県1/2  
財政力指数が県平均以上の市町 県2/5
  - 4 整備期間 26～28年度

◎ 広域防災拠点資機材整備事業費 35,614

- 大規模災害時に県内外からの人的・物的支援を円滑に受け入れるため、「広域防災拠点」の運営に必要な資機材を整備する。
- 1 整備資機材 (1)救出・救助機関が使用する資機材(担架、搜索(救助)用ボート)  
(2)物資の保管・運搬等に使用する資機材(パレット、手動フォークリフト など)  
(3)拠点運営に使用する資機材(投光機、発電機 現地本部用テントなど)
  - 2 整備場所 7施設(山根公園、県総合運動公園、西予市宇和運動公園等)
  - 3 整備期間 27～29年度

広域防災・減災対策検討費 1,744

- 県と市町等で、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、広域防災・減災対策について検討・協議し、新たな政策課題の検討や意見交換・情報共有を行う。
- 1 県の広域防災・減災対策の推進  
(1)広域防災・減災対策検討協議会の運営  
・構成員 県、20市町、アドバイザー、自衛隊、海保、消防、气象台等  
・開催回数 年2回  
・検討事項 広域防災連携に関する検討、災害情報伝達・共有に関する検討、意見交換、情報共有 など  
(2)ワーキンググループの設置・運営  
広域防災連携検討WG、災害情報伝達・共有検討WG
  - 2 地域の防災・減災対策の推進(ゼロ予算)  
地方局防災・減災対策連絡協議会(仮称)の設置・運営  
(1)構成員 地方局、管内市町、防災関係機関  
(2)検討事項 防災上の地域課題の検討、情報共有・意見交換 など

- ◎ **地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業費(東予)** 783  
 地震被害想定結果を踏まえ、地域と企業が連携し、実効性のある避難訓練等をモデル事業として実施する。
- 1 災害に強いまちづくり活動検討会
    - (1)内容 訓練内容の検討、事後検証 など
    - (2)地域 今治市、西条市(各1地区)
  - 2 地域と企業の合同訓練の実施
  - 3 地域防災力向上応援企業認証
  - 4 事業活動報告書の作成・配布
- 南予津波被害防止支援事業費(南予)** 600  
 津波により大きな被害の発生が予想される宇和海沿岸において、自主防災組織による主体的な避難行動計画の作成が進むよう、防災士等に対して計画作成のための実践研修を実施する。
- 1 自ら行動するワークショップ事業  
 タウンウォッチングによる実地研修、地区津波避難行動計画作成及び避難訓練 など
  - 2 「地域に広げよう防災意識」事業  
 津波避難行動計画の作成や見直しを宇和海全域に広げるための講演・意見交換会の実施
- 原子力発電施設等緊急時安全対策費** 280, 313  
 原子力災害に備えた防災対策の実施
- 1 緊急時連絡網の整備
  - 2 防災活動資機材等の整備
  - 3 緊急時対策調査・普及
  - 4 放射線防護対策整備済施設の発電施設等保守点検
- (国10/10)
- **原子力防災広域避難対策強化費** 104, 440  
 原子力災害に備えた広域避難計画等の実効性を更に高めるため、関係機関との連携を強化するとともに、要配慮者の避難対策や避難退域時検査体制等の強化を図る。
- 1 広域避難対策連携強化
    - (1)内閣府、立地県等で構成するワーキングチームへの参画・連携強化
    - (2)広域連携推進会議(周辺7県)の開催及び原発以西半島部住民の避難先となる大分県への資機材整備
    - (3)関係市町間(避難元・受入先市町)での検討会及び重点市町自主防災組織等対象の講習会開催 など
  - 2 要配慮者避難対策強化
    - (1)社会福祉施設及びバス協会等運輸団体を対象とした講習会の開催等
    - (2)施設避難計画の実効性向上のための個別相談等支援
    - (3)社会福祉施設等避難用車両の確保(車イス対応マイクロバス6台) など
  - 3 避難退域時検査体制の強化  
 広域避難でのUPZ退域時に放射性物質付着の有無を確認(検査用ゲート型モニター2台)
  - 4 安定ヨウ素剤配布体制の強化
  - 5 オフサイトセンターブラインド訓練の実施
- (国10/10)
- 消防広域化・消防救急無線デジタル化推進事業費** 390  
 市町の消防の広域化及び消防救急無線のデジタル化の推進を図るための経費
- ◎ **消防団員確保対策緊急支援事業費** 3, 680  
 地域防災の中核を担う消防団の充実を図るため、県、県消防協会、市町が連携して、消防団員確保対策に取り組む。
- 1 消防団員確保キャラバン隊の結成・派遣
    - ・内容 キャラバン隊の編成(県消防協会の東・中・南予3支部)
    - 関係機関や事業所への要請活動、地域住民等への広報活動 など
  - 2 女性消防団員加入促進アピール大会の開催  
 女性消防団員の加入促進を目的とした県民大会の開催
    - ・内容 基調講演、体験発表、シンポジウム
    - ・参加者 500人(女性消防団員、女性防火クラブ員、自主防災組織関係者、一般県民等)

○ 救急業務高度化事業費 2, 745

救急搬送体制等の高度化を図るため、救急救命士の資質向上研修や、メディカルコントロール体制の充実強化を図る。

- 1 救急救命士に対する追加講習の実施
  - (1)ビデオ硬性喉頭鏡を使用した気管挿管
  - (2)心肺機能停止前の静脈路確保と輸液
  - (3)血糖測定とブドウ糖溶液の投与
- 2 救急搬送及び受入れの実施基準に係る協議  
回数 年2回

○ 自転車安全利用促進事業費 7, 992

自転車の安全利用を促進するため、指導を行う立場にある者に対する自転車安全利用セミナーの開催や自転車安全利用促進条例を推進するため市町と連携した広報啓発等を実施する。

- 1 県自転車安全利用研究協議会の運営
- 2 自転車安全利用セミナーの開催
- 3 条例推進に伴う広報啓発
  - (1)チラシ、DVD等による広報啓発
  - (2)ヘルメット着用モデル事業所の認定(30事業所)
  - (3)シェア・ザ・ロード標識の更なる掲出(ゼロ予算)
  - (4)出前型自転車安全利用講座の実施
  - (5)職員向け研修の実施(ゼロ予算)

◎ えひめ女性活躍推進事業費 3, 783

女性が輝く社会の形成を目指して、経済団体等と連携しながら、企業経営者への意識啓発や女性メンター育成等に取り組み、意欲ある女性が活躍できる環境整備を推進する。

- 1 えひめ女性活躍促進事業
  - (1)社長・経営幹部・管理職等への意識啓発
  - (2)えひめ女性メンターの育成
  - (3)県内企業等への周知啓発
- 2 経営者・働く女性向けロールモデル紹介等事業
  - (1)企業向けロールモデル講演会
  - (2)県ロールモデル等紹介サイトのリニューアル
  - (3)女性活躍推進に係る施策の企画・推進

協働による地域づくり推進事業費 3, 636

「多様な主体による協働指針」に基づき、協働の手法を用いた住民主体の地域づくりを推進するため、県・市町が連携して、住民集会の運営や地域をサポートできる人材の育成などに取り組む。

- 1 住民集会の開催(市町事業)  
住民自らが地域課題を解決していくための活動を促進
- 2 住民集会運営のノウハウ提供  
県に設置したアドバイザーを市町の要請に応じて派遣するとともに、地域をサポートできる人材を育成
- 3 活動情報の共有(ゼロ予算)  
県・市町連携推進本部WGにおいて情報を共有し、他の地域への活動の普及を推進

男女共同参画理解促進事業費 1, 452

- 1 県審議会等委員公募実施
- 2 男女共同参画理解促進事業
  - (1)えひめ男女共同参画通信発行
  - (2)男女共同参画広報啓発メール配信(ゼロ予算)
  - (3)市町男女共同参画推進支援
- 3 男女共同参画推進地域ミーティング開催
- 4 男女共同参画キャリア支援事業
  - (1)ロールモデルの発掘及び紹介
  - (2)中高生のためのキャリアデザイン講座の開催
- 5 えひめ女性のチャレンジ支援サイトによる情報提供(ゼロ予算)

男女共同参画社会づくり推進県民会議開催費 1, 358

男女共同参画社会の実現に向けて、県民総ぐるみの運動を展開するため、男女共同参画社会づくり推進県民大会を開催する。

- 1 時 期 27年6月「パートナー・ウィークえひめ」期間中
- 2 主 催 男女共同参画社会づくり推進県民会議、県、(公財)えひめ女性財団、(公財)松山市男女共同参画推進財団
- 3 開催場所 ひめぎんホール(サブホール)
- 4 参加者 約800人(県民会議会員及び一般県民)
- 5 内 容 基調講演、パネルディスカッション、フォトコンテスト など

## DV防止対策推進事業費

1, 784

- 1 DV防止対策推進会議の開催(年2回)  
・DV防止に関する県の施策の検討 など
- 2 DV防止対策連絡会の開催  
・連携強化のための意見交換 など
- 3 DV防止啓発資料の作成
- 4 研修会への講師派遣
- 5 高校生のためのDV未然防止講座の開催
- 6 中学校・高校教職員に対するDV未然防止教育研修
- 7 大学生向けDV防止啓発講座の開催

## ボランティア活動等促進事業費

5, 443

- 1 ボランティア総合相談窓口の設置・運営  
(1)場 所 県庁(男女参画・県民協働課内)  
(2)ボランティア相談員の設置(非常勤嘱託1人)
- 2 愛媛ボランティアネットの運営管理
- 3 一芸ボランティアの紹介  
(1)特技を活かしてボランティアを行う人を登録  
(2)派遣要望に応じてマッチング
- 4 企業等の社会貢献活動促進
- 5 ボランティア・チャレンジ2015事業  
(1)ボランティアガイドブックの作成  
(2)ボランティア・チャレンジウィークの広報(ゼロ予算)  
(3)参加促進のための情報発信等(ゼロ予算)

## 隣保事業等推進事業費

215, 686

- 1 指導監督等事業(国1/2、県1/2)
- 2 隣保館運営等事業(松山市除く)  
(1)隣保館等運営事業(15市町(32館)) ほか  
(2)負担区分 国1/2、県1/4(市町1/4)

## 人権尊重の社会づくり推進事業費

22, 832

- 1 「差別をなくする強調月間」等の実施  
(国10/10)  
(1)差別をなくする県民のつどい  
(2)広報活動
- 2 人権啓発フェスティバルの開催(国10/10)
- 3 スポーツ組織との連携・協力による啓発  
(国10/10)
- 4 人権啓発市町委託事業(国10/10)  
(1)委 託 先 20市町  
(2)事業内容  
講演会の開催、啓発資料の作成配布 など
- 5 人権施策推進協議会の運営  
(1)構成 委員15人(学識経験者、団体関係者、公募委員)  
(2)任務 県の人権施策の推進に関する協議  
(3)回数 年1回
- 6 いじめ問題再調査委員会の運営(国1/3)  
(1)構成 委員6人(学識経験者、弁護士、臨床心理士等)  
(2)任務 いじめの重大事態発生時の再調査

## 人権啓発センター運営事業費

4, 191

- 人権施策を総合的かつ効果的に推進するため、人権啓発の拠点として人権啓発センターを運営する。
- 1 人権啓発指導員の設置  
(1)設置人数 1人  
(2)業務内容  
啓発、研修事業の企画及び実施、人権問題に係る相談業務 など
  - 2 ライブラリーの整備・運営(国10/10)  
啓発資料(書籍、ビデオ等)の閲覧及び貸出
  - 3 人権啓発講座の開催  
東・中・南予 各1日開催  
東・南予 計100人、中予 100人

## ○ 特定鳥獣保護管理計画推進事業費

6, 690

- 1 特定鳥獣適正管理検討委員会の開催  
特定鳥獣保護管理計画の検討・評価
- 2 ニホンジカ適正管理計画調査  
(1)生息密度調査 ・南予南部 4地点(宇和島、広見、津島下灘、城辺)  
・中予 4地点  
(2)植物被害調査 ・ニホンジカの侵入が危惧される石鎚山系及び周辺地域
- 3 指定管理鳥獣捕獲等事業(国1/2)  
実施計画の策定、指定鳥獣の個体数調整捕獲の実施  
(森林環境保全基金事業)

## ○ 狩猟免許費

6, 361

- 1 狩猟免許試験及び狩猟免許更新審査  
(1)対象予定者数 試験:378人、更新:2,538人  
(2)実施会場等 試験:5会場(各2回/年)、更新:41会場
- 2 狩猟者登録  
(1)本県で狩猟を行おうとする者(狩猟免許保持者)の登録  
(2)登録予定件数 3,719件